



仙臺領地名所和歌

4  
4734





仙臺領地若和歌



陸奥山

通那

こゝろをわたりて乃とふくまへて  
こゝろをわたりて乃とふくまへて

末松山

惟通

あまのついでに波もたつりす  
あまのついでに波もたつりす



昭和十六年三月五日  
石澤介吉氏贈



磐ノ下し 公長

くらぬよ 深きし

無いさあ の

宮城野 雅季

あしきみさ

あしきみさ 油の源

大塩菅原 輝光

雪のしらけ けしき

素古曾解 實積

誰もしら 花さく

かきこれ 開乃 春

緒絶橋 高綱

まゝ人のまゝ



今印のき

玉階石 經音

片玉の玉階石のよきなり朝夏

とくまのきりて涼す

石丸川 有波

水月雨の石丸川

とくまのきりて涼す

玉行 惟永

すしはらむとみりて田代玉のふ

とくまのきりて涼す

夜行 光愛

じつとくまのきりて涼す

とくまのきりて涼す

武隈行 公野











平嘗撰封內陳跡勝地共  
右尤著者請冷泉有網鄉  
以出題需和歌干公家諸  
君各詠一首自筆短毋將  
為一帖云

正德純集壬辰孟夏之日

九也中將吉村識

右和歌作者

通誠久保 後一位前口大佐  
豐忠廣福 正二位權大納言  
經音大德寺門 正二位權大納言  
通巧中元 正二位前權大納言  
惟通久保 後二位權中納言  
輝光日此 後二位權中納言



高綱  
公長  
有方  
字侯  
進友  
尚信  
字史子

冷泉 後二位 於中 綱云  
平 正三位 宰相  
六條 正三位 宰相  
或云少 正三位 前宰相  
之也 正三位  
在右 後三位  
押嘉 後三位

高久  
惟永  
雅孝  
公野  
資時  
實積  
光受

冷泉 後三位  
行白 正四位下 彈正 大弼  
清光 正四位下 大弼  
或云少 後四位上 右中 右  
冬 後四位下 右中 右  
平 後四位下 右中 右  
高丸 正五位上 亮 人 丸 少 辨



荻原林阿弥の曾祖父・阿弥政親  
号無名 親の諱に敬ぶことと  
あつてそ 阿弥少路 延慶院後の  
門子入年かくる 阿弥もひんがし  
本林 阿弥をふし 阿弥といはるるとそ 阿弥  
と百余年 阿弥をふし 阿弥といはるるとそ 阿弥

くたつとさい やー 阿弥をえつとつ 阿弥  
阿弥を中 阿弥と阿弥といはるるとそ 阿弥  
阿弥といはるるとそ 阿弥といはるるとそ 阿弥  
阿弥といはるるとそ 阿弥といはるるとそ 阿弥  
阿弥といはるるとそ 阿弥といはるるとそ 阿弥  
阿弥といはるるとそ 阿弥といはるるとそ 阿弥



天保十年十一月日

曾孫菰原政定奉

江川義啓刻



